

趣味に仕事に

充実の暮らしの拠点として

平成17年2月にご入居された 大内田 務様

自分のペースで
穏やかに毎日を過ごす

大内田務さんの趣味は、デジタルカメラを使つての撮影。今年1月中旬には雪化粧した熊本城を撮影されたそうです。「暖かくなったら、熊本城の梅の花、4月は二の丸公園の桜、5月はNHK熊本放送局のツツジ。これからの季節は撮影場所がたくさんあります」と、楽しみにされています。また「麻雀も楽しみの一つです。入居者の雀友と卓を囲み、冗談を交わす雰囲気は心が和みます。成績？脳の劣化で駄目です」と苦笑い。お話ぶりから、充実した毎日を過ごされている様子が伝わります。

熊本市内で内科医院を開業されて43年。老後は穏やかに過ごそうと計画を練っていた矢先に、奥様が他界。「子どもがいませんし、老後は二人で過ごすことを基準に考えていたので、とても不安になりました」とのこと。その後、新聞広告で『グランガーデン熊本』の存在を知り、また、気を落とされていた大内田さんを心配されていた病院の看護師さんたちの勧めもあり、入居を決められたそうです。

現在は朝5時に起床し、日課の花の水



やりとラジオ体操。レストランで朝食を済ませ、午後からは月に3回の太極拳のサークルへ。内科医のご経験を生かし、月に5回ほどは熊本市医師会ヘルスケアセンターへ定期検診のお手伝いに行かれていますか。「予定を入れていた方が、気持ちがいやんとして元気に過ごせます。ただ、医者の不養生にならないよう無理だけはしないようにね」。サークルや仕事がお休みの日は、レストランで仲のいい友達と会話を楽しんだり、プライベートダイニングで訪ねて来られた友人と食事会を開いたり。多くの友人は、施設の豪華さとスタッ

フのサービスに感心するので、つい自慢してしまうこともあります」と、快適な暮らしにご満足のご様子です。

「レストランや大浴場など、共同で使うスペースではスタッフがきれいに掃除をしてくださる上、入居者の方のマナーが良い。楽しく過ごしたいときは皆で集まり、一人でゆつくりしたい時は自分のペースでゆっくりできます。入居者同士、または入居者とスタッフが程よい距離感を持ち、互いを尊重して暮らす雰囲気がいっています」と、お話ししてくださいました。